

今月の推薦句

山田真砂年選

初場所や鬚ゆがませて勝ち名乗り	岩本尚子
寒明けや並びし本の読み切れず	今村博子
色もたぬ影に色あり鏡餅	伊藤 翠
霜晴や補聴器に音とり戻し	大坪正美
安房の風前に後に麦を踏む	小見戸 実
調律師音を探して春隣	沼田布美
走るには重たき靴や霜柱	飛田小馬々
円位忌や師の面影のふかぶかと	牧園 賀
速報のグラフ尖れる余寒なほ	池田美和
数の子をわしわしと噛む白寿かな	関口敦子
ねんねこや中でのけぞる好奇心	浜田優子
轉りや面輪あやしき野の仏	矢代靖子
さまざまの木型に春日さす菓子舗	細井恵子
着ぶくれて顔の小さくなりにけり	滝代文平
錆を取り糸を通すも針供養	上田信隆
調理場の裏の生簀や雪解風	岡本秀子
鞆葉塗りて始むる写経かな	永井三枝
冬の蝶翅を広げしまま石に	中村かりん
ハイハイのゴール黒猫春隣	瀧本 萌
飯田線窓から仄か梅便り	鎌倉秋廣
雪解川河口の青に染まりけり	高田 峰

